1
January 2014
No.693

熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

CONTENTS

- 年頭所感（会長　浦田 健二）…… 3
- 理事会 …… 4･5
- 特集：熊本県委託事業「ヘル歯元気 8020支援事業」……6･7
- 年頭所感（日歯会長　大久保 満男）…… 8
- 委員会報告 …… 9～12（学術、社会保険、総務・厚生・医療管理）
- 年男年女 …… 13～18
- 郡市会報告 …… 19～22（玉名、阿蘇、人吉、宇土郡市、荒尾）
- お知らせ …… 23
- 寄稿 …… 24･25
- つどい …… 26
- 会員投稿 …… 27～30
- 新入会員 …… 31
- 会務報告 …… 31･32

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人 日本歯科医師会

表紙に寄せて

新年、明けましておめでとうございます。

世の中の流れが「ウマ」く行き始めたように、歯科業界も「ウマ」く行くの一年になりますように！

（T.S）

年頭所感

熊本県歯科医師会会長　浦　田　健　二

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、新たな年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、熊本県歯科医師会の会務運営に対しまして多大なるご支援、ご協力を賜わりまして誠にありがとうございました。この場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。

御蔭をもちまして、昨年の新年のご挨拶で申しました三つの連携事業、①早産予防事業、②糖尿病と歯周病連携事業、③がん患者医科歯科連携事業もこの一年間、それぞれ順調に進んでおります。

特に昨年四月より始まったがん患者医科歯科連携事業では、国立病院機構熊本医療センター、熊本赤十字病院、済生会熊本病院、からの患者さんのご紹介が11月までの８カ月間で150名を超えて居ります。まだまだ問題もありますが、改善しながら益々充実した事業にしていきたいと思っております。

１月11日熊本市医師会館をお借りして、この一年を振り返りがん患者医科歯科医療連携の更なる発展を目指して、熊本県内のがん拠点病院、行政、会員の皆様にお集まりいただき、講演会、シンポジュウムを開催いたします。多くの会員及びスタッフの皆様に参加頂きたいと思います。そして、４月から熊本県内の一つでも多くのがん拠点病院と連携の協定を結びたいと思っております。その節は会員の皆様のご協力をお願い致します。

また、がん患者医科歯科医療連携事業も、厚生労働省の事業に位置付けられ、研修もナショナルテキストで行うようになると聞いて居ります。本会でもその対応を進めてまいります。

今年は更にリハ病院との連携を始めて行きたいと思います。まず、モデル事業を熊本機能病院、熊本託麻台リハビリテーション病院と熊本市歯科医師会、熊本県歯科医師会の間で協定を結び入院時及び退院後の訪問診療の連携事業を二月から始めていく予定にしております。色々の制約もありますが、少しずつ各郡市単位に広げていければと思っております。ともあれ最終的には益々会員の先生方にご負担をおかけすることになりますが、一人一人少し無理をして頂ければ全体で大きな力になると信じて居ります、宜しくお願い致します。

昨年末、県の委託事業でフッ化物洗口啓発DVDを作成しました。知事とくまモンの出演もかない素晴らしいものが出来上がりました。今年から色々な場面で目にするかもしれません、応援宜しくお願い致します。また、くまモンとよ防さんのクリヤファイルお送りします、ご笑納ください。

最後になりますが、少しでも歯科界が発展するよう努力してまいります、今年一年宜しくお願い申し上げます、と共に皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

理事会報告

この１年に感謝申し上げます

― 第７回理事会 ―

12月25日（水）午後７時より県歯会館 第１会議室において、浦田会長ほか全役員・伊藤学院長出席のもと、議長を浦田会長、議事録署名人を久々山、西野両監事として第７回理事会が開催された。

開　会：中嶋副会長
挨　拶：浦田会長

診療報酬改定について、事前にマイナス改定との情報が飛び交っていた中で、ほんの少しですがプラス改定となりました。さらに、医科・歯科の技術料比率に基づく１対1.1の配分も確保されました。今後は改定率に沿って点数の貼り付け作業が始まりますので、作業のゆくえを注視していかなければならないと思います。

今年１年を振り返りますと、現在の執行部の任期は概ね７月からでしたが、３つの連携事業について軌道に乗せる準備が出来た１年であったと思います。また、県行政においては歯科保健事業にとてもご理解を賜り、歯科保健推進に多くの予算を付けていただきました。そういう意味では画期的な１年であったと思います。さらには、全国学校歯科保健研究大会も無事大成功に終わりました。数え上げればきりが無い程ですが、役職員、会員や関係団体等の皆様のおかげをもちまして、この１年乗り越えられたことにあらためて感謝を申し上げます。人間は長く生きて行くにしたがって思えば思うほど、いろいろの因縁というもの、言い換えれば「お蔭」で自分というのができていることが分かります。「お蔭」でできた自分だからいろいろ報いなければならないと思いますし、それが仏教用語でいう「感恩報謝（かんのんほうしゃ）」という言葉の意味となります。「恩」という字は「口」と「大」と「心」と３つの字に分けられ、「口」は環境を表し、「大」は人間が手足を大きく広げている様子を表しているそうです。何のお蔭でこのように大きく存在しているかと思う心が「恩」を知るということです。

このことを忘れずに、来年も今年以上により良い年となりますように、一歩一歩足元を見つめながら進めて行きましょう。現執行部も２年目に入る年となりますので、今年以上に結果を残せるよう役員の先生方の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

会務報告：（自：11月25日～至：12月18日）

本会総務：理事会、常務理事会、県警察歯科医会役員会、大規模災害時の災害支援活動に関する協定締結式
社会保険：近県社会保険担当者会議
地域保健：標準的な成人歯科健診モデル事業、日本口腔衛生学会打合せ
広　　報：むし歯予防うがい液（フッ化物洗口）の有効性に関する普及啓発事業
学校歯科：歯及び口腔の健康づくり指導、学齢期歯科保健講演会
医療対策：医療相談苦情事例報告、医療対策講演会
センター・介護：口腔ケア指導者養成研修会、摂食・嚥下研修会、障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業研修会、介護者歯科実技研修会
総務・厚生・医療管理：病診連携協議会、日歯がん診療医科歯科連携推進協議会
学　　院：解剖学見学実習、自衛隊隊内生活体験反省会
国保組合：規約および規程改正、資格調査

以上、各担当役員より報告がなされた。

報告事項：

１．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼
・新型インフルエンザ等対策窓口担当者／県健康福祉部健康危機管理課
　渡辺 賢治　専務理事
・がん診療医科歯科連携推進協議会委員／日本歯科医師会
　牛島 隆　常務理事
　任期：平成25年12月４日～平成27年６月30日

２．国保組合員の範囲
次年度に保険料を改定することから、会員歯科医院の現状に合わせて、国保組合規約を改正する。

３．平成25年度(第29回)新入会員研修会日程
２月22日(土) 午後３時より、県歯会館において開催する。
４．診療報酬改定に向けた地元国会議員への働きかけ
連盟と共同して地元の推薦国会議員に、診療報酬の充実と引き上げに関する要望書を各議員会館宛に送付した。
その成果もあってプラス改定となり、また、歯科は医科に比べて高めに配分され歯科診療の重要性が配慮された結果となった。
５．フィリピン台風被害への義援金募集
12月の全会員発送時に会員へ募金協力のお願い文書を送付し、集まった募金は１月17日までに日歯へ送金する。
６．第63回日本口腔衛生学会シンポジウム企画
５月31日(土) 午後１時30分から３時まで、標記学会の中で本会企画のシンポジウムを開催する。
７．レントゲン撮影、ＣＴ撮影
兵庫県でエックス線撮影等に関して無資格者による逮捕事例が発生したことに伴い、日歯が歯科医療機関におけるレントゲン撮影等に関する歯科医療行為について厚労省の見解を確認した。
８．委員会事業企画
学校歯科委員会：『学校歯科医のための「フッ化物洗口の講演会」研修会』(２月５日)
９．委員会事業実施報告
医療対策委員会：『医療対策講演会』(12月７日)
駐車場の問題があったので、今後検討する。
10．会計１１月末現況
11．その他
○他県での保険薬局と保険医療機関取消事例
○学院創立50周年記念講演会
(１月19日　於：県歯会館)

連絡事項：
１．１月行事予定
11日のがん連携講演会(於：熊本市医師会館)と26日の県歯科医学大会(於：県歯会館)の参加申込が現段階で少ないため、動員を図ることとする。

承認事項：
１．新入会員の承認〔承認〕
杉野 東生(熊本市／第１種) １名の入会を承認した。
※25年度入会状況(12月末現在)…第１種・14名、第２種・４名、第３種・４名
２．名義後援使用許可〔承認〕
第63回日本口腔衛生学会・総会への後援を行うこととした。
３．会費・負担金減免申請の承認〔承認〕
申請に基づき、今年度の会費・負担金を免除することとした。
４．県歯会館の火災保険契約更新〔承認〕
地震保険契約(１年)を前年と同じ条件で更新することとした。なお、次年度の更新時は保険金額を含めて条件の見直しを行うこととする。

議題：
１．九地連協議会の提出協議題〔承認〕
提出協議題があれば、渡辺専務理事または事務局まで連絡することとした。
２．平成26年度各委員会の事業計画(案)並びに予算(案)〔承認〕
原案どおり承認し、３月の臨時代議員会に議案として上程することとした。
３．平成26年度会費及び負担金の賦課額・賦課率並びに徴収方法(案)〔承認〕
原案どおり承認し、３月の臨時代議員会に議案として上程することとした。
４．平成26年度社会歯科学研究会秋期研修会の本県開催依頼の対応と開催期日〔承認〕
平成26年10月開催で社会歯科学研究会事務局と日程調整を図ることとした。
５．平成26年度口腔ケアシンポジウムの本県開催依頼の対応と開催期日〔承認〕
依頼に基づき本県で開催することとし、平成27年１月頃の開催で主催者側と日程調整を図ることとした。
６．国保組合員資格調査に係る登録証〔承認〕
原案どおりに登録証を発行することとした。
７．その他
○県へき地保健医療対策に関する協議会において、へき地診療のシステム作りについての議題が挙がったため、県庁に内容を確認して本会としての対応を図ることとした。

協議事項：
１．平成25年度日本歯科医師会災害歯科コーディネーター研修会
３月16日(日)に福岡県歯会館で開催される。本会からは渡辺専務理事、八木・牛島常務理事が出席予定。
２．時局対策
役員へ大規模災害時の規制除外車両の事前届出に必要な歯科医師免許証と自動車検査証の写しの提出が呼びかけられた。
３．その他
○むし歯予防うがい液(フッ化物洗口)の有効性に関する普及啓発事業で作製したDVDの試写が行われた。

監事講評：
久々山監事より、内規を含めた諸規則の検討について、臨時委員会の立ち上げを含め早期に取りかかって欲しいとの要請がなされた。

閉　会：宮坂副会長

(広報　加藤　久雄)

特 集

熊本県委託事業「ヘル歯元気 8020支援事業」

― 糖尿病・歯周病医療連携の取組み ―

地域保健委員会では「地域に潜在する歯科保健医療の顕在化と歯科医療のパイを拡大する」ことを目的として、早産予防・糖尿病対策・生活歯援（標準的な成人歯科健診）事業を切り口とした活動を展開中である。その中で、糖尿病・歯周病医療連携の取組みを紹介する。

【平成20年度】

糖尿病・歯周病医療連携の取り組みは公開市民講座（口腔と全身の健康）としてスタートした。

【平成21・22年度】

医療連携のための各種ツール（糖尿病診療情報提供書、歯周病セルフチェック票、歯科受診のススメ糖尿病編）を作成した。

【平成23年度】

各種ツールを使って、菊池において糖尿病・歯周病医療連携モデル事業を行った。モデル事業の実施期間（平成24年１月の１ケ月）での診療情報提供書（医科→歯科）の授受は８件、診療情報提供書（歯科→医科）の授受は４件であった。また、調剤薬局での歯周病セルフチェック票配布は188件であった。調剤薬局での歯周病セルフチェック票配布が歯科受診勧奨の有力な手段になり得ることが分かった。また、診療情報提供書の授受を医療連携の核にすると連携が回りにくい事が判明した。

【平成24年度】

糖尿病診療情報提供書の授受を指標とした連携に替えて、HbA1c値を共通指標とした連携体制構築を目的とした各種帳票追加と医療連携マニュアル作成を行った。さらに、県歯地域保健委員会と各郡市担当者を中心としたネットワークの中でHbA1c値を共通指標とした糖尿病・歯周病の医療連携を実施した。上記事業の実施結果を8020支援事業の保健医療連携研修会（菊池、八代）で報告し、事業の検証を行った。熊本県では「糖尿病重症化・合併症予防のための保健医療福祉連携体制構築にかかる指針」が策定され、歯科からの糖尿病対策も「糖尿病予防に関する医科・歯科連携について」として記載された。

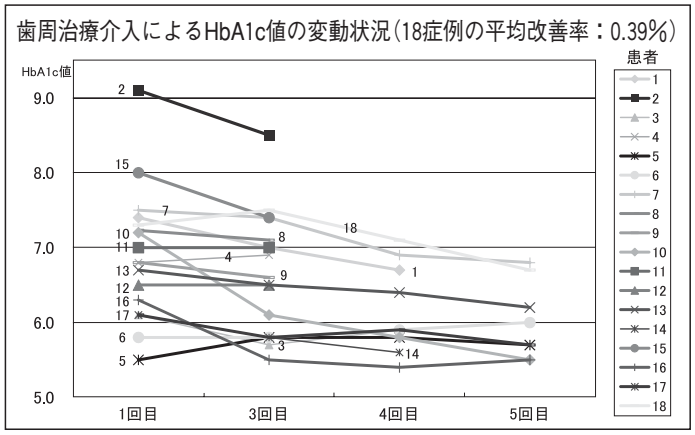
糖尿病診療情報提供書の授受状況とHbA1c値改善状況報告書

平成24年11月～25年10月

糖尿病・歯周病　医療連携の状況	
医療連携　総数	104

連携手帳の所持状況	
有	26
無	68
不明	10
計	104

糖尿病診療情報提供書の授受状況	通算件数
糖尿病診療情報提供書（医科→歯科）	46
糖尿病診療情報提供書（歯科→医科）	53



【平成25年度】

以下のような活動が地域保健委員会だけにとどまらず、各郡市歯科医師会や医師会・薬剤師会等の団体、県や市町村行政等を巻き込んだ活動へと広がりつつある。

1．糖尿病・歯周病　医療連携のための各種ツールの完成
　①糖尿病・歯周病　医療連携を実施するための各種帳票及び医療連携マニュアル
　②糖尿病・歯周病　医療連携を各圏域糖尿病連絡会や会員診療所でPRする為のツール
2．　糖尿病・歯周病　医療連携の各種ツールを熊本県糖尿病対策推進会議のHPにアップ
3．　糖尿病・歯周病　医療連携の質の向上（糖尿病・歯周病　医療連携研修会の実施）
4．　糖尿病・歯周病　医療連携ネットワークの拡大
　①ネットワークへの参加者を会員の１割に拡大
　②各郡市の三師会へのPR
5．　糖尿病・歯周病　医療連携を市町村特定健診につなげるルートの開拓

【2013年時点での医学的根拠】

糖尿病と歯周病の関係については日本糖尿病学会が下記のような声明を発表している。

◆科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン2013：日本糖尿病学会

1）糖尿病と歯周病の関係（推奨の強さ：グレードＡ＝行うよう強く勧める）
　糖尿病と歯周病は相互に負の影響を与える。したがって、患者に糖尿病と歯周病の関連性を説明し、定期的に歯科を受診させて口腔状態を評価し、必要に応じて歯科治療を行うべきである。

2）糖尿病患者における歯周病（グレードＡ）
　糖尿病患者は、健常者と比較して歯周病の有病率が高く、より重症化していることが多い。とりわけ血糖コントロールが不良な患者ほど歯周病の重症度が高く、より進行するリスクが高い。

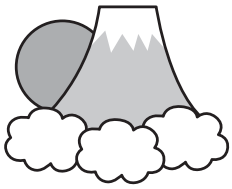
3）歯周病が糖尿病の発症および病態に及ぼす影響（グレードＢ＝行うよう勧める）
　歯周病有病者は、非歯周病者に比較して糖尿病の有病率が発症リスクが高い。また、重度の歯周病を未治療のまま放置しておくことは、糖尿病の血糖コントロールに悪影響を与える可能性がある。

4）歯周治療が血糖コントロールに与える影響（グレードＢ）
　歯周病を有する２型糖尿病患者に歯周治療を行うと、HbA1c値が改善する可能性がある。

このように医学的根拠が明らかになってきており、糖尿病と歯周病の医療連携を行うことは“医療における当然の責務”となりつつある。今後は各圏域において糖尿病・歯周病医療連携をすすめていかなければならない。本事業に対する各郡市歯科医師会のご理解とご協力を切に願うものである。

（常務理事　田上大輔）

年頭所感



日本歯科医師会　会長　大久保　満　男

新年明けましておめでとうございます。全国の会員諸先生方におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。昨年は、日本歯科医師会の会務運営に関し、ご理解とご支援を賜りましたことに深甚なる感謝を申し上げますとともに、本年も変わらぬご厚情を賜りたくお願い申し上げます。本年は午年です。この厳しいわが国の現状を、文字通り、疾駆する馬のようにゴールに向けて走り抜けたいという思いと、しかしそのゴールをどこに定めたら良いのかと逡巡する思いが交錯しているというのが、新年を迎えた偽らざる心境です。私は、様々な場所で、「日本は今、第三の国造りの正念場に立っている」と発言しています。第一は明治維新であり、第二は太平洋戦争の敗戦後の国造りです。では、なにゆえに日本の新たな国家像を造る必要に今迫られているのか。それは言うまでもなく、わが国が、世界最速で超高齢社会を迎えた少子高齢社会であることです。

わが国は、われわれが知る限り、わが国の歴史上初めて人口が減少していく社会となっていく。これは労働人口の減少と高齢者の労働をどのように確保するかという困難な課題を抱えているということです。さらに、わが国の世界最速の高齢化の進行は、他の先進国と異なる厳しい二つの重荷を背負っている状況にあります。一つ目は、よく知られているように、フランスは115年、さらに他の欧米諸国も半世紀以上をかけてゆっくりと高齢化が進行したのに対し、わが国はわずか24年という短さであっという間に高齢社会となったことです。言うまでもなく高齢化の速度は、65歳以上の人口比率が７％から14％になるまでの期間を基準として計ります。二つ目は、欧米諸国の高齢化は19～20世紀の資本主義が拡張している時代であったのに比して、わが国は最も経済が厳しい状況の中で高齢化が進行していることです。わが国の高齢化率が７％となった1970年の翌年はニクソンショック、73年は第一次オイルショックという世界の経済を揺るがす大きな出来事があり、さらにわが国は80年代後半からのバブル景気があっという間にはじけ、その後の経済低迷の状況はここで改めて言うまでもありません。このような二重苦の中で、わが国は新たな国造りの必要に迫られている、と私は思っています。

さらにこの第三の国造りの困難さは、過去二度のそれが、欧米という目標と、そこからの外圧があったのに対し、今回の国造りは、世界のどこにもモデルはなく、また外からの圧力もありません。文字通り、われわれ日本国民が、われわれ自身の頭と手と汗とで造り上げていかねばならないものだ、と思っています。そして、その新たな国造りの主要な柱は、医療と福祉と教育だと思います。

国家が、ここで腹を据えて、国民の健康と生命を守り、その中で人を作ることに、国の英知を結集すべきではないでしょうか。そのためには、われわれ医療従事者が、その先頭に立って走る覚悟が必要であり、また日本歯科医師会の会長に任命された者として、その先頭に立って戦わねばならない。その使命を改めて新年に当たり自分に課しています。国民の健康を守り、歯科医療を守るために、それらを阻害しようとする要因に対して、われわれは最前線で戦わねばなりませんが、さらにその戦い方においては、歯科医師としての品格がなければならないことも、極めて大切な事実であると考えます。

イギリスの保守思想家であったギルバート・チェスタートンの「真の兵士とは、前にいる敵が憎いからではなく、後ろにいる者を愛するがゆえに戦う」という言葉を胸に刻んで、新たな年に向かいます。どうかよろしくお願い申し上げます。

委員会報告

大学・学会とのさらなる連携構築が必要

― 九州各県学術担当者会 ―

学術

10月26日（土）鹿児島市ホテル・レクストン鹿児島において九州各県歯科医師会学術担当者会が行なわれ、本会からは日歯学術委員として牛島隆常務理事、井上学術担当理事と堀川が出席した。鹿児島県歯会西孝一副会長の開会の辞に続き、森原久樹会長より担当者会開催に際しての挨拶と２週間前に鹿児島で開催された九地連での各県の参加協力に対するお礼が述べられた。続いて日歯高橋秀直常務理事より挨拶があった。

各県からの出席者紹介の後、座長に鹿児島県歯会黒木敦朗常務理事、副座長に宮崎県歯会花田剛典理事が選出された。はじめに高橋理事より日歯報告があり、Ｅシステムの活用状況や各県ごとの日歯生涯研修事業の修了達成者数を示された。また生涯研修事業の目的である研修成果の国民への還元と本会の学術団体としての評価の向上を推進させるためには大学、学会とのさらなる連携構築が必要であると述べられた。

続いて、

（１）平成２５年度学術関係事業計画および予算

（２）各県提出議題　各県より11の協議題が提出された。

議題は①各県学術委員会において学会・講習会・セミナー以外に行っている事業②歯科医師会と学会との連携③講習会講師のリスト共有化④講師選定⑤医科歯科連携講演会⑥医科歯科連携⑦有料講習会の開催と参加費⑧歯科助手コースの講習会の企画⑨専門性を持った歯科衛生士の育成⑩日歯生涯研修事業の活性化⑪講演会・研修会の企画、が挙げられ、それぞれについて各県の対応や意見が出された。中でも講習会講師の選定については、各県共に苦慮されており、共通の問題であることが認識されたが、各県歯のつてを通じての選定も多く、リスト化することは難しいとの結論に至った。代わりに、Ｅシステムでの講演会情報を辿ってはどうかなどの意見が交わされた。また口腔と全身疾患との関わりについて相互関係が認められるようになり、医科歯科連携事業が様々な形で進行している状況が報告された。更に、医科との連携に関し、専門性の高い歯科衛生士の育成に関する意見など本県においても今後の検討課題になるのではないかと思われた。

意見交換中の井上学術担当理事

（３）各県からの日歯への質問、要望

①学術委員会の果たすべき役割　②日歯が会員へ今最も伝えたい学術的テーマ　③大規模災害対策　④産業歯科医　⑤全身と歯科疾患の関連についてのエビデンスについて提出され、それぞれについて日歯高橋理事から回答された。

全身と歯科疾患の関連についてのエビデンスについてはまだまだ情報が不足しており現在情報収集を行っている最中と述べられ、2015年のFDA世界大会においてどの様な関わりがあるのか発表する予定であると述べられた。

最後に花田理事より次期開催県挨拶があり、閉会した。各県より活発な意見交換がされ、非常に有意義な会となった。

（学術　堀川　正）

委員会報告

学術担当者間での情報交換を密に

― 各郡市学術担当者会 ―

学術

11月16日（土）午後4時より県歯会館2階第１会議室において、各郡市歯科医師会学術担当者会が開催された。学術委員会片山晃紀副委員長の司会のもと、八木義博常務理事の開会の辞で始まり、渡辺賢治専務理事より糖尿病、がん、周術期患者、災害時対応などの事業における各方面との連携の重要性やくま歯キャラバン隊の活用について挨拶があった。次に出席者紹介があり、井上裕邦理事を座長とし議事へと進行した。

報告

（１）日歯報告

日歯の学術委員も務める牛島隆常務理事より生涯研修制度の意義と現状と題し、全国的にも達成率が減少している状況を踏まえ、本県においても参加率、達成率両者において減少傾向がみられることや修了基準と認定基準について違いが浸透していない点について説明があった。

（２）九州各県学術担当者会

井上理事より10月に開催された九州各県学術担当者会の報告として、主催講演会の開催方法や講師選定、医科歯科連携等について各県の現状が説明された。

（３）県歯平成25年度事業計画及び実施事業報告

（４）各郡市平成25年度事業計画及び実施事業報告

（５）各郡市の生涯研修単位獲得状況

（６）第66回九州歯科医学大会

（７）その他（安心・安全歯科医療推進制度）

日歯生涯研修事業と連動する本県の安心・安全歯科医療推進制度についても、申告者、基準達成者ともに減少傾向にある旨が述べられ本制度の活性化の必要性を述べた。

協議

（１）各郡市からの質問・要望

① 各郡市の学術講演会ではどのようなことを企画されていますか（玉名郡市）

各郡市の企画について紹介され、重点課題である医科歯科連携に関するものが目立った。

② 日歯へ派遣可能な講師リストのようなものを作ってほしい（荒尾市）

牛島常務理事よりリスト作成は現実的でなく、Ｅ－システム及び歯科医学会分科会支部の活用により解決できる旨の回答が為された。

③ 日常診療に沿ったコンポジットレジン修復や義歯関係の勉強会を行ってほしい。また、歯科衛生士に対してのTBI、スケーリングセミナーなど（人吉市）

井上理事よりメーカー、ディーラーを利用したセミナーについて、また歯科衛生士のセミナーについてはくま歯キャラバン隊の講演会が渡辺専務より紹介された。

その他、県歯への質問・要望として以下が提出された。

④ 県歯と各郡市で講演会の日程・内容が重ならないための工夫について（熊本市）

⑤ 安心・安全歯科医療推進制度への明確なモチベーションが欲しい（荒尾市）

⑥ 県歯の講演会で行っているような講演時のタイアップ先を紹介してほしい（荒尾市）

⑦ 訪問歯科のやり方等をご教授いただきたい（天草郡市）

④⑥については学術委員会、各郡市担当者間でメーリングリストを作成し、情報交換を密にすることが提案された。

（２）その他

牛島常務理事より日歯生涯研修事業の活性化案について提起され、園木誠委員が歯科医学会分科会認定医取得に生涯研修事業の単位を絡めることを提案した。

（学術　馬場　一英）

日歯生涯研修事業の活性化を

委員会報告　幅広い内容で各県と協議

― 第16回近県歯科医師会社会保険担当者会議 ―

社会保険

11月30日（土）午後２時より県歯会館で本県担当にて第16回近県歯科医師会社会保険担当者会議が、開催された。

清水委員長の司会進行のもと、中嶋副会長による開会の辞の後に、本県浦田会長、香川県歯豊嶋会長、山口県歯右田会長、長崎県歯許斐会長よりそれぞれ挨拶が行なわれた。

その後、座長に本県の田中理事が選出され会議は進行した。まず、報告において、日歯社会保険関係報告として、香川県歯豊嶋会長より、歯科の現状と課題について①国民医療費②受診率③医療費の動向、そして今後の展開について多くのデータを基に説明があった。次に、山口県歯小山常務理事（日歯社保委員会委員）より、中医協における議論の過程について特に①周術期医療②がん連携③根管治療の説明があり、その中でも周術期医療の重要性について話があった。さらに、田中理事より今年本県で実施された集団指導や個別指導の報告が行われた。その他の報告として、中嶋副会長より熊本県の支払基金や連合会の審査状況について説明があった。

協議に移り、各県提出協議題について、個別指導、周術期医療、画像診断、手術、レセプトオンラインなど幅広い内容で各県の相違点を確認し、白熱した議論が展開された。

白熱した議論が展開された

最後に椿理事による閉会の辞で４時間に渡る会議は終了した。場所を移して懇親会が行われ、そこでは会議での緊張感はなく賑やかに親睦を深めていった。

中国・四国地区、九州地区のある程度統一された認識と見解そして歯科医師会の意見を国に訴え続け会員や国民に反映できるよう我々社会保険委員会は尽力するつもりである。

（社会保険　山口　貴久）

委員会報告

災害に備える

― 関連団体との災害支援活動に関する協定締結式 ―

総務・厚生・医療管理

12月２日（月）午後７時30分より、県歯会館第１会議室において、「大規模災害時の災害支援活動に関する協定」の締結式が行われ、熊本県歯科医師会、熊本県歯科技工士会、熊本県歯科衛生士会ならびに熊本県歯科用品商組合の代表者が出席し、協定書への調印と文書の取り交わしを行なった。これは、本年３月に熊本県と締結した「大規模災害時における災害支援活動に関する協定」に基づいたもので、県との協定の中に、「関連団体との密接な連携のもと、災害支援活動計画を策定するものとする。」と定められているものを受けた形で、現在進めている「災害対応マニュアル」の策定と同時に、関連団体と災害時における支援活動の協力体制を構築する目的で行われた。

歯科技工士会および歯科衛生士会については、熊本県の依頼に基づき、県歯会が行う医療救護活動に対して、人員確保が困難な場合など必要と認められた場合に、各団体に所属する歯科技工士や歯科衛生士の派遣協力を行うというものであり、また歯科用品商組合については、医薬品や治療用材料等の提供、さまざまな支援活動に関する内容が盛り込まれている。災害対応マニュアルとともに、この協定を締結することにより、関連団体同志がしっかりと協力しあって、万一の災害に対応する準備が整備されることとなる。

協定に定めている各団体の主な活動内容は次の通り。

歯科技工士会

①相談窓口の設置への協力及び緊急歯科治療の補助
②義歯清掃・修理（破損・不適）
③矯正装置の修理
④義歯刻名・即時義歯の作製など

歯科衛生士会

①相談窓口の設置への協力及び緊急歯科治療の補助
②避難所・仮設住宅等での歯科相談、口腔衛生指導、口腔機能（食べる、話すなど）訓練、義歯清掃指導、管理方法
③口腔ケア用品等の配布・点検・整備
④口腔乾燥・口内炎・口臭・口内トラブルへの対処など

固い結束で支援活動

歯科用品商組合

①災害医薬品の原価での提供
②罹災した歯科医師会会員等に対する人道的支援
③人命救助・後片付け等を含めた積極的参加など

各団体の参加者は以下の通り

熊本県歯科医師会：浦田健二会長
小島博文副会長
渡辺賢治専務理事
八木義博常務理事
牛島隆常務理事

熊本県歯科技工士会：宗像篤志会長
川崎晋二副会長
上村敬三専務理事

熊本県歯科衛生士会：福本厚子会長
越川由紀専務理事

熊本県歯科用品商組合：黒田雅明組合長

（常務理事　牛島　隆）

年男・年女インタビュー

①氏名（敬称略）
②生年月日
③今年の抱負
④昨年のニュース（出来事）の中で、どんな事が印象に残りましたか
⑤いま関心があることをお聞かせください
⑥あなたの健康法を教えてください

大過なく診療したい

①藤本　　豊
②昭和17年３月１日
③自身の健康、家族の健康、患者さんを大過なく診察出来る事。ぼちぼち軟着陸の地点探し
④異常気象による各地の災害
⑤医・歯・薬の連携医療（診療）
⑥４月～10月（毎年）の野球の練習とそれを補う為の毎日の少しのジョギングと体操・腕立て伏せ（100回）、スクワット（100回）、腹筋運動（50回）、バットスィング、ダッシュ等を行っています。

江津湖を散歩

①西川　庄次
②昭和17年５月７日
③“騏驎も衰うれば駑馬之に先だつ”と言う、若い時より駑馬であった私は今は駄馬となり時の流れのままに老いを受け入れていくだけ。
④特定秘密保護法の成立。驚き！“美しい日本”とは富国強兵のことなのか！アベノミクスで“富国”秘密保護法で強兵。悪名高い治安維持法を思い出し、軍事化の足音がする思い。
⑤“半田半農“田舎に畑を買いあばら屋を建て土、日の百姓もどき。歯を見るより葉を見るのはとても楽しい。
⑥早朝、江津湖に朝陽を見に２時間、夕方、夕陽を見に２時間、犬と散歩すること。

断捨離実行

①徳永　宣夫
②昭和17年７月28日
③今年こそは、断捨離実行。そろそろ終活もやらねば…
④中国の横暴（防空識別圏設定等）
核燃料サイクル推進（経産省が原発ゼロを否定）
⑤アウトドア全般。特に登山、スノーボード、島めぐり、ボーディング、フィッシング…
⑥まだまだ百名山も残っているので、なるべく走ったり、自転車に乗ったりしています。

心の平和を保つ

①伊東　隆利
②昭和17年７月30日
③院長職を交代し（→伊東隆三院長へ）、これからは理事長として組織運営、医療安全、教育・研修に力を注ぎたい。
④インプラントの死亡事故裁判で有罪判決が出たこと。
心して行かねば…。
⑤歯科界として高齢社会への対応、歯科大学がない熊本県の地域性を考えて、伊東歯科口腔病院が、地域に頼りにされる存在になるために必要なことは？
⑥よく歩くこと。心の平和を保つこと。

テニスでの上位入賞

①澤村　克彦
②昭和29年１月６日
③今年から60を越えるので硬式テニスの年代別の試合で上位に入りたいです。
④１．自民党の与党復活
２．２度目の東京五輪開催決定
⑤１．日本の行く末

2．夏に予定の初孫の無事誕生
⑥1．テニスと筋トレ
2．毎日少しでも時間があればする昼寝
3．物事をくよくよ考えずに、ゆったりと過す事

毎日ウォーキング

①村上　常道
②昭和29年2月19日
③今年は還暦を迎えますので、のんびり、ゆっくりやっていければと思っています。
④異常気象。この先、どんな事が起こるか心配しています。
⑤日本の借金(国債)1,000兆円突破について。
⑥食事療法と毎日のウォーキング。

ジムで汗をかく

①加藤　泰三
②昭和29年4月28日
③特にありません。
④東京オリンピックの開催決定。
⑤特定秘密保護法案の行方
⑥スポーツジムで汗をかくこと

30分の早起き

①鬼塚　啓史
②昭和29年5月16日
③目標を立てて努力するということがどうも苦手な性分なものですから、抱負などという大したものはありませんが、敢えて、今年は毎朝30分早く起床して本を読んでみようと思っています。
④TPPの議論等、世界は間違いなく狭くなってきているというのに人類は相変わらず地球のあちこちで殺し合いをやっています。中国にも不安を感じます。人間は本当に愚かですが、マンデラ氏のように崇高な精神を持つ人も多くいることは救いです。
⑤下顎総義歯の吸着について関心があります。それなりの手順を踏めばかなりの都合で吸着が得られることを知りました（遅い）。
⑥気持ちは若いのに、当然ですが体は衰えています。下手なゴルフで山や谷を往復せざるを得ませんが、それが体には良いようです。

毎日薬を服用する

①松本　光示
②昭和29年5月30日
③今年はボーナスのときや支払いのときにビクビクしないですむようになりたい。
④伊豆大島の土石流災害
フィリピン台風被害　など
⑤特にありません。
⑥特にないのですが、病院から処方された数種類の薬を毎日かかさず服用すること…です。

無理せずあるがまま

①藤崎　圭一
②昭和29年6月10日
③無理せずあるがまま
④テキサス親父（知ってる人だけわかります）
⑤simフリーのタブレット
⑥役に立っているか分からないけどストレッチを20分やってます。

健康に注意

①北里　雄二
②昭和29年6月12日
③還暦という人生の節目を迎え、まずは健康に十分気をつける事。
④世界の異常気象と環境問題。
⑤TPPにおける医療の方向性。
⑥腹七分目と適度な飲酒と十分な睡眠。
そして7匹の猫と戯れてストレス発散。

耳順

①中嶋　隆志
②昭和29年6月17日
③「耳順」
④1．国内外の異常気象と災害。
2．2020年東京オリンピック決定

⑤「五輪の書」
⑥腹八分の食事と飲酒、適度な運動

山歩き

①山本　　宏
②昭和29年６月19日
③特にありません。
④・荒尾市歯科医師会での会長就任（10年前には考えもしなかった）
・衆院選での民主党の大敗
・長男の結婚
⑤摂食・嚥下リハビリテーション
⑥たまに山歩きしてます。

プラス思考

①坂口　浩史
②昭和29年７月24日
③健康に気を付け仕事に遊びに人生を楽しむこと
④自然災害が増々厳しくなっている
⑤咬合が全ての歯科治療の基本であること
⑥プラス思考

心機一転!!

①田中　弥興
②昭和29年８月７日
③人生３つ目の節目です。心機一転!!
④2020年オリンピック招致に成功したこと。
７年後に向って人々にいろんな夢を与えてくれたと思います。
私も今度のオリンピックは絶対に見に行くぞと決めました。
⑤最近、一眼レフカメラデビューをしてただ今練習中
⑥中性脂肪、コレステロールを改善する為にウォーキングを始めました。
健康長寿を目指す第一歩。オリンピックを見に行く為に

健康第一

①鳴尾　英一
②昭和29年９月３日
③まずは健康が一番
何事もない平和な一年であってほしいです。
④まず福島の方の心中…
⑤○○さえあれば車がほしいですね。
⑥できるだけ野菜中心の食生活。

あまり深く考えない

①林田　　豊
②昭和29年９月26日
③恐れ多いですが、全身の健康の改善に少しでも役立つような歯科治療の推進。
④自分の事ですが、大型犬と散歩中右手にケガをしたこと。（老化のせい？）
妻も大型犬と散歩中、手を骨折。２人とも初めての事でした。
人生何が起こるかわからないと痛感。
⑤南の島へ海外移住。もしくはロングステイできたらいいなあ……。
⑥・食事と散歩
・あまり深く考えないこと。

色んな事にチャレンジ

①大森　秀則
②昭和29年９月27日
③今年60歳になりますがまだまだ若い気持ちで仕事を頑張って行き色んな事にチャレンジしたいと思っています。
今年は宝くじで１億円当たり、カジノに行って勝つこと。
④・日本シリーズで巨人を破って楽天が日本一になった事。
・2020年のオリンピックが東京に決まった事。
・息子と娘２人の就職が決まった事。
⑤安倍内閣で日本にもカジノが出来る法案が可決するみたいです。
⑥特にしていませんが、月二回の下手ながら楽しいゴルフや月一回の友達４～５人の集まりお茶飲みながら日々仕事のお話し等で

ストレス発散して溜めない自分流健康法かな？

健康に気をつけましょう

①林　　康博
②昭和29年９月29日
③このまま歯科医を続けても、通常でしたらあと10年そこら。これまで得る事が出来た知識、技術、あるいは経験を、この10年で若い先生方に伝える事が出来ればと思っています。
④一昨年は、所属するKDM（熊本デンティストミーティング）が創立30周年を迎えましたが、その記念講演会で会員が発表したものが、昨年の歯界展望の１月号から12月号まで論文として連続掲載されています。「インプラントとどう向き合うか？」と言う演題です。よろしかったら、ぜひ一読下さい。社会的なニュースとしては沢山ありますが、とにかく自民党政権になってホッとしています。
⑤中国が「防空識別圏」を尖閣上空に設置しましたが、これはもう「臨戦状態」にあると思います。元来、中国領では無かったチベット、ウイグルを中国が侵略し始めたのが1949年のこと。数百万、数千万の人達が殺されていると言われていますが、このままでは日本もそんなことになる可能性さえあります。
⑤５年前に突然、脳梗塞を起こしました。幸い麻痺が左側だったため仕事はやっておりますが、病気になって身体に問題を抱える人の苦しみが嫌というほど解るようになりました。お酒は「少量であれば毎日でも可」となっていますが、病気の再発を心配する家人意見から「週二日だけ」になっています。（泣）
僕は福歯大の一期生ですが、同級生で熊本に関係する同級生22名のうち、１／３にあたる７名が既に亡くなっています。平均年齢からすると異常に早いと思いますが、昔から「歯科医師は短命」と言うのが通説です。僕もこの様な病気になってしまいましたし、皆さん健康にはぜひお気をつけ下さい。

自分の時間を持つ

①川元　直子
②昭和29年11月18日
③・人生後半を自覚し、自分の時間を持つこと
・親孝行すること
④・アベノミクス
・娘の結婚
⑤・グローバル化が進む中での日本の立ち位置
・民間企業や政府外交で、“日本がんばれ”と応援したいです。
⑥運動不足は、自覚しています。
今年こそ…!!

毎日歩く

①上野　亮一
②昭和29年12月７日
③多忙な一年になりそう。健康で乗り越えたいです。
④日中韓の関係悪化。近所付合いは難しいですね。
⑤国保組合のこと。
⑥１日１時間以上歩くこと。（できるだけ）

学術論文を書く

①森　　智昌
②昭和29年12月30日
③学術論文を最低３編書く
English skill up
Ukulele skill up
④エネルギー問題（原発ゼロに関して）
⑤Bucket listの作成
⑥Enjoyment vomes first

テニスと体重維持

①山口　一彦
②昭和41年１月１日
③抱負という抱負はないのですが、毎日健康で、診療とテニスができればいいと思っております。
④東京五輪の招致です。娘でれないかな～。
⑤長女の受験と、次女のテニスです。
⑥毎日体重計にのって、63.0kgキープするた

めの食事の増減と週６のテニス、毎朝ヨーグルトを食べることです。

穏やかに過ごす

①二宮　康郎
②昭和41年１月16日
③あまり主張せず、心豊かに、穏やかに過ごしたいと思います。
④異常気象により昨年も各地で多くの尊い生命が犠牲になりました。一体、世界はどうなっていくのでしょうか。
⑤熊本の歴史と散策。
⑥早寝、早起き、散歩。

基礎力を磨く

①成瀬　公彦
②昭和41年２月２日
③仕事の基礎力をもっと磨きたいと思います。
④2020年の東京オリンピック開催決定ですね。
昨年は、アベノミクス効果もあり、景気も底を打った感がありました。そこに、追い風のように、オリンピック開催が決定「やったー」と言う気持でした。
⑤スタッフの健康や生活を豊かにすることです。
⑥毎日、試行錯誤して生きることです。

家族旅行

①田中　弥信
②昭和41年７月22日
③・健康であること
・家族旅行に行きたい。
④東京オリンピック2020開催決定
⑤子供の入学試験
⑥歯科医師会野球部にて練習、試合にてストレス解消
毎日楽しく食事していること

朝のトマトジュース

①岡﨑　信也
②昭和41年９月11日
③その日のうちに就寝！でしょうか…
（ついつい夜ふかししがちなので）
④オリンピック日本開催決定。
スポーツ観戦が好きなので楽しみです。
⑤アベノミクスのこれから
⑥毎朝のトマトジュース
首もとを冷やさない
実はあまり気にしていません（汗）

自分磨き

①伊藤　道子
②昭和41年10月15日
③いろんな意味で…自分磨き。
④2020年夏季五輪、パラリンピックの開催地が東京に決定したこと。機会があれば、実際にアスリート達をこの目で見て応援したいです。
⑤子供達の教育と社会貢献。それと、日本を取り巻く社会情勢。
⑥家族でテニス。

飛躍の一年に

①堀尾慎一郎
②昭和41年10月16日
③・飛躍の一年に
・医療連携強化
④・東京オリンピック決定
・中国の防空識別圏設定問題
⑤・消費税５％→８％→10％へ。医療費は、薬価還元もなく保険点数は上がらない、材料代は上がるのに。私達はどうすればいい。
・東京モーターショー
・徳洲会マネー
⑥目標、１日１万歩く

食べすぎない

①堀川　　正
②昭和41年10月21日
③人生理念の見直し
④三水会50周年
⑤スタッフをいかに幸せにするか
⑥食べすぎない

健康であること

①春野　雅俊
②昭和41年11月16日
③健康であること
⑥ソフトバレーボール

適度な運動

①瀬戸　雄行
②昭和41年11月21日
③人生の中でいままでやったことがないことをやっていく予定
④オリンピックの日本開催
⑤日本の政治の舵取り
⑥頭部冷却、適度な運動

丁寧な診療

①松田　佑介
②昭和53年１月４日
③より丁寧な診療を心がけること
④新規指導
⑤メンタルトレーニング
⑥睡眠

「オンカロ」視察

①近藤　俊輔
②昭和53年４月27日
③よく働き、よく遊ぶ。
④小泉元総理の脱原発発言、フィンランドの最終処理施設「オンカロ」視察。
オンカロについてのDVD「100,000年後の安全」ぜひ見てみて下さい。
⑤日本で、矯正治療を普及させるにはどうすればよいか。
⑥・歯科医師会の剣道部でがんばっております。
・毎年熊本城マラソンと藤崎宮の例大祭（済々黌飾り馬奉納団絆）に出れるよう体調管理しております。

医院経営を深く学ぶ

①伊藤　延隆
②昭和53年７月５日
③健康に気をつけつつ医院経営についてより深く学んでいきたい。
④東京オリンピック決定
⑤税に関して
⑥野菜中心の食事と毎日のダンスとボウリング

玉名郡市歯科医師会

全ての議題を承認

— 臨時総会 —

10月25日（金）午後６時30分より『司ロイヤルホテル』において平成25年度臨時総会が開催された。森隆文会長の挨拶の後前会長の冨永英俊会員に記念品贈呈が行われた。続いて議長、副議長にそれぞれ国﨑拓会員、増田憲敏会員が選出され、上半期の会務報告から会長・専務会議、代議員、評議員、国保組合などの報告があった。次に議題に移り前年度の一般会計決算、共済互助会、連盟、KDMUの決算が承認され、会計監査報告も行われた。また会則一部改正の承認もされた。協議では在宅診療、医療対策、フッ化物洗口の詳細が担当委員から説明された。そして臨時総会は無事終了し、懇親会場に席を移して楽しく歓談しながら盛況のうちに終宴となった。

臨時総会は、無事終了

（春野　惟一）

安心・安全な治療を行うために

— 医療対策研修会 —

11月28日（木）午後７時30分より玉名文化センターにおいて県歯医療対策委員会の冨屋栄祐理事を招いて「医療苦情・医療事故の実情分析と実例による検証」という演題で講演があった。

当日は今期最低温度に冷え込む夜だったが、この研修会の重要性を熟知している多くの会員が出席した。

講演では医療事故や苦情が起きてしまった場合の対処法について説明があった後、実際に現在どのような事故や苦情が多く寄せられてるか、私達会員がハッとしてドキッとするような24年度の事例を時間の許す限りたくさん話された。医療苦情相談内容の上位の４つ（医院の対応態度、料金、治療内容、説明不足）が大多数を占めていて、最近言いがかり的な苦情や患者さんの精神的な問題が増加してるそうだ。

１時間半の講演だったが、安心・安全な歯科治療を行うためには院内の安全管理体制の徹底と患者さんとのインフォームドコンセントの構築や患者さんへの思いやり、気配りがとても大切であるとあらためて痛感した。

医療苦情相談事例を詳しく説明

（春野　惟一）

玉名郡市歯科医師会

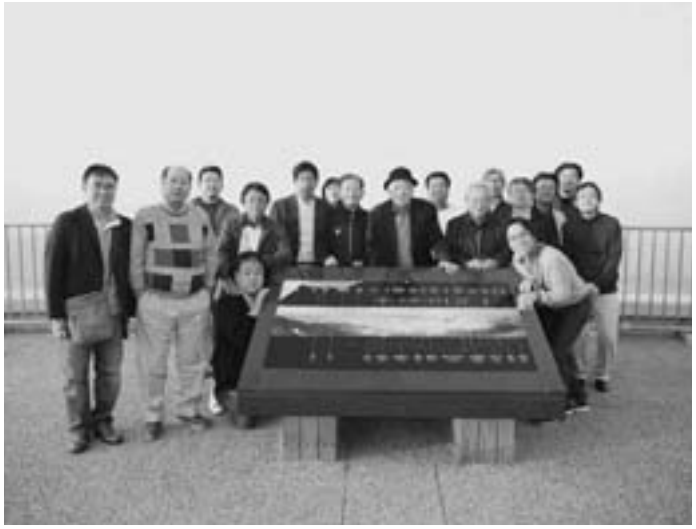
おいしい食と観光で北九州を満喫

— 会員旅行 —

11月16(土)、17(日) にかけて、玉名郡市歯科医師会会員旅行が行われた。今年の旅行は『秋の北九州・門司港レトロと満腹ふぐ三昧』の旅で、参加者は17名であった。

16日午後２時に玉名駅に集合して出発予定だったが、旅行への期待感からほとんどの会員が時間前に集まっていた。

参加者全員が犬束会員の缶ビールの差し入れのお陰で、車内は早々に旅行モード突入。一部の酒好きの会員は日本酒まで飛び出し、その様な車内で顔を真っ赤にした安田会員がマイクを持ったので、得意のカラオケが始まるかと思いきや、北九州にゆかりのある人物、観光名所などを解説してくれた。特に皿倉山にまつわる話には皆がなるほどと納得させられた。そうこうしている内に最初の観光地である皿倉山に到着した。麓からケーブルカーで北九州の街並みを眺めながら頂上の展望台に向かい、展望台では北九州の海、川、山、街全体を一望できた。降りる時にはすっかり暗くなり、幸運な事に、新夜景三名所に数えられる皿倉山の夜景も見る事が出来た。



皿倉山で記念撮影

皿倉山を後にして、午後６時過ぎに到着した小倉東急インホテル傍の料亭『留むら』で夜の宴会が行われた。食事はフグ刺が隙間なく埋め尽くされた大皿が、１人１皿ずつ用意してあり、その他にもふぐ鍋、ひれ酒、フグ雑炊とふぐ三昧で大満足であった。２次会は小柳会員の学生時代の行きつけの店に卒後約25年ぶりに訪れたそうだが、ママさんは代わっておらず、会員が歌うカラオケに合わせての昔と変わらない踊りの切れに全員が驚かされた。その後繁華街へ繰り出したり、屋台のラーメンを食べに行ったり、マージャンをしたりと北九州の夜を各々満喫したようだ。

二日目はバイキング形式の朝食を食べ、９時30分にホテルを出発し約５分後には目的地である松本清張記念館に到着した。記念館では、小倉が生んだ偉人松本清張の作品や人生、生きた時代を学ぶことができ、中でも再現された東京の自宅（書斎）には約３万冊の本が置いてあり、清張の作品への創作活動を感じさせてくれた。その後記念館に併設する細川忠興が築城した名城小倉城を見学した。

小倉城を後にして次の目的地門司港レトロではＪＲ門司港駅、門司港レトロ地区の街並み、旧門司三井倶楽部などを見てまわり、海峡プラザでお土産品を買い込んだ。その後の最終目的地である唐戸市場では多くの人達がごちそうを求めて集まっている中、なんとか人ごみをかき分けて行き着いたお店での寿司は人がこれだけ集まるのも納得と思わせる味だった。食事が終わると、自分だけおいしい物を食べて家族に申し訳ないと思ったのか、夕食にもと思ったのか、多くの会員が食材やお土産をたくさん買っていた。楽しい時間はあっという間に過ぎて、午後２時30分バスに乗り込み玉名へ。また来年の楽しい企画を期待したい。

（永廣　有伸）

阿蘇郡市歯科医師会

天草旅行で親睦を深める

— 親睦旅行 —

11月16日(土)、17日(日)、今年も旅行は近場ということもあって、天草であった。現地の上天草市ホテル竜宮に午後６時までに集合ということで、早めに来てゆっくり温泉につかり…身も心もふやけてきたところで…さあ７時！宴の始まり始まり～新鮮なお造りに、蛸１匹まるごとの柔らか煮（絶品)、次から次へと美味しい料理が運ばれて来て、「今日はおうちに帰らなくていいのよ」ってことでアルコールが進み、会話も普段以上に弾み「さあみんなで二次会だー」と思ったが、山育ちのおじさんばかり、海に落ちると危ないので１部屋に全員集まって夜遅くまでの酒盛り!!さまざまな？話に花を咲かせた。みんな某専務の物知りぶりには驚きを隠せない夜だった（笑）

ホテル竜宮で記念写真

翌朝は朝食をとり、それぞれ解散となった。来年はちょっと遠くへ行ってみたいと思った。

（馬谷　　真）

人吉市歯科医師会

盛り上がった大相撲

— 研修旅行 —

11月23日(土）から24日(日）にかけて人吉市歯科医師会研修旅行が行われた。今回は、大相撲11月場所の見学をメインに福岡の研修を行った。

早朝８時半に與田会長宅に集合し出発した。貸切バスに乗るや否や、中原副会長の粋な計らいで、ボジョレーヌーボが会員12名に振る舞われた。太宰府までお酒を飲み続け、３回のトイレ休憩ののち、最初の見学先である九州国立博物館に到着した。博物館では、豊臣秀吉の寝室に置かれていて、石川五右衛門が寝室に盗みに入ったのを鳴いて知らせたというウグイスの磁器が展示されており、会員達の目を楽しませていた。博物館内のレストランで昼食をとると、一行はメインである福岡国際センターに向かった。今回の11月場所の見どころは所要３場所で入幕を遂げた遠藤の取り組みと両横綱の白鵬と日馬富士の取り組みである。会員達は枡席と溜まり席に分かれて観戦した。最初、相撲にあまり興味がなかったが、周囲の空気と力士の迫力ある取り組みに圧倒された。今回特に盛り上がったのは、本日勝てば千秋楽を迎えずに優勝する白鵬と、それを阻止すべく日馬富士を前日敗っている稀勢の里の取り組みだった。二人のにらみ合いに場内ではおぉーと言うどよめきが上がった。取り組みは見事に稀勢の里が勝利をものにして、日馬富士の優勝への首をつないだ。千秋楽前日ではあったがとても盛り上がった大相撲だった。その日の夜は、福岡天神の稚加栄にてふぐ料理を満喫した。

12名が参加

研修会２日目は、アサヒビール工場見学で幕を開けた。工場ではビールの製造過程の見学や美味しい注ぎ方を習った。見学後は工場内のレストランにて、美味しいビールと焼肉に舌鼓をうった。酔いも覚めないうちに、最後の目的地であるアウトレット鳥栖にて、各自家族にお土産を買って帰路に着いた。実際に本物の相撲を見るのは初めての会員が多かったが、皆相撲がこんなに面白いとは思わなかったという感想が多かった。みなさんお疲れ様でした。

（瀬戸　雄行）

宇土郡市歯科医師会

義歯装着後の管理

― 宇城三郡市合同学術講演会 ―

11月９日（土）午後４時より、県歯会館において、H25年度 宇城三郡市学術講演会が開催された。長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野 村田比呂志教授を講師としてお迎えし、「義歯装着後の管理～リライン、義歯安定剤および義歯の洗浄を中心に～」ご講演いただいた。講演に先立ち、宇土郡市歯会 田中副会長より開会の挨拶で、村田教授とは大学時代の同級生であること、部活動など思い出話を交えながら、今回の講演も快く引き受けていただいたことへの感謝を述べられた。講演の主な内容として、とくにリライン材、義歯洗浄剤、義歯安定剤等について、大学病院での症例にそって各メーカーごとの特性、利点、欠点など詳しく説明があり、それぞれの特性を生かし、適材適所で使い分けることで、より義歯の安定を維持したり清潔さを保つことができる、と述べられた。最後に、村田教授に上益城郡市歯会 玉置会長より謝辞で、「私たちの頃は、こんなに種類はなかったので、今日はこういう機会に聞けて良かった。明日からの臨床に役立てたい。」と挨拶があり本日の講演会は終了。午後6時より、アークホテル10階ダイニング「六花」に席を移して、宇土郡市歯会中村会長の挨拶と下益城郡市歯会吉永会長の乾杯の音頭で懇親会がスタートした。ライトアップされた熊本城を眺めながら、村田教授を囲んで和やかな夜の宴となった。上益城郡市歯会玉置会長の一本締めにて会はお開きとなった。

詳しく解説される村田教授

（坂口　泰子）

荒尾市歯科医師会

良好な関係継続のために

― 荒玉合同役員連絡協議会 ―

12月13日（金）午後７時30分より、荒尾市の料亭「小岱」にて荒尾市・玉名郡市歯科医師会合同役員連絡協議会が行われた。

これは荒歯会・玉歯会の役員が一年に一回、荒尾または玉名に集まり（今年は荒歯会が幹事）、会の運営、事業活動等に関する意見交換および親睦を図る目的で行われている。

会議は、荒歯会山本会長、玉歯会森会長の挨拶に続き、本年度の役員改選後の初開催のため、参加者一人一人の自己紹介の後、下記の議事に関して協議・意見交換が行われた。

・医療連携について（玉歯会より）：特に糖尿病に関する医科への情報提供に関して
・フッ化物洗口の取り組み（玉歯会より）
・荒尾・玉名間の連絡窓口一本化（荒歯会より）
・休日診療の協力（荒歯会より）
・荒尾玉名合同事業の推進（荒歯会より）：特に訪問歯科診療に関して

会議終了後の懇親会、二次会では例年通り、役員相互の意見交換・親睦が更に図られ、例年、このように隣接する地区の歯科医師会相互で意見交換をする場を持つことは非常に有益であった。

玉歯会会員に説明する荒歯会山本会長

挨拶される玉歯会森会長

（坂田　輝之）

お知らせ

平成25年度第２回臨時代議員会 開催のお知らせ

下記の通り平成25年度第２回臨時代議員会を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時：平成26年３月15日（土）午後３時～
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

［議　事］

第１号議案　平成25年度熊本県歯科医師会会計収支補正予算書（案）の承認を求める件
第２号議案　平成26年度熊本県歯科医師会事業計画（案）の承認を求める件
第３号議案　平成26年度熊本県歯科医師会会費及び負担金の賦課額、賦課率並びにその徴収方法（案）の承認を求める件
第４号議案　平成26年度熊本県歯科医師会会計収支予算書（案）の承認を求める件

［協　議］

１　時局対策について
２　その他

平成25年度会員懇談会 開催のお知らせ

このたびの法人制度改革により、平成25年度から総会を開催することがなくなりました。その代わりとして、会務運営・事業計画・予算等の報告並びに会員の皆様のご意見をお聞きするために標記集会を開催しますのでお知らせいたします。

記

日時：平成26年３月15日（土）午後５時開催予定（臨時代議員会終了後）
会場：熊本県歯科医師会館　４階ホール

寄　稿

四国八十八ヶ所・お遍路・区切り打ちの旅

（その４）

会員　**奥田　良樹**（熊本市）

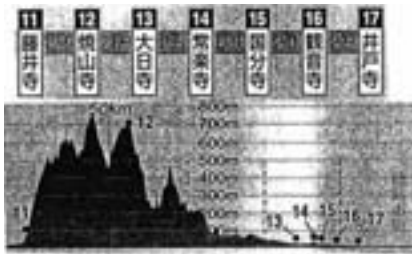
「へんろころがし」と呼ばれる難所へ

２日目は難所の山道だらけ

11月24日。お遍路の２日目は宿を５時に出た。リュックには“おにぎり弁当”外は小雨が降り真暗。ヘッドライトで道を確認しながら、少し早足で山道を登って行った…。

十二番札所の「焼山寺」は12.9km先の約700ｍの山頂にあり、その間には750ｍの山――登り下りを繰り返し、５時間15分でやっと辿り着いた。その間に逢ったのは野ウサギ一匹だけ…。

２日目の行程。11藤井寺から17井戸寺まで“へんろころがし”を約43km



高低差700ｍ、以上もある難所“へんろころがし”多くの歩き遍路がここでリタイア!?

焼山寺への“へんろころがし”の途中にあった句と標示

しかし、この焼山寺から次の大日寺までも長いアップダウンが20kmも続き、ジワジワと足腰に疲れが出てきたが、ガマン、我慢の走歩で、ふもとの町に着き、目についた古びた酒屋に飛び込みタクシーを呼んでもらう…。

酒屋で昼間から酔っぱらっていたオバサン。楽しくお接待してくれたが、私はチョット逃げ腰…!?

と、ここの酒屋には店主のオバチャンと客のオバチャン２人が明るく元気に接待してくれ、アメ、ビール、せんべい――とタクシーが来るまでの間楽しい時間が過ごせた。

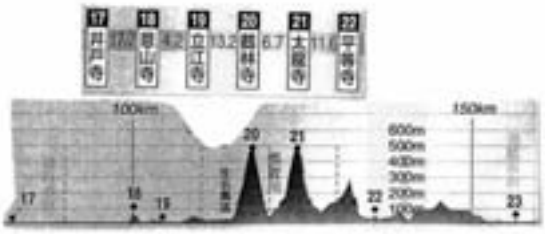
タクシーで「大日寺」まで２千円也。ここから「常楽寺」「国分寺」となんとか走歩したが、足にダメージがあり、翌日も走れる余力を残すために再びタクシー1500円でこの日の宿「おんやど松本屋」へ夕方５時半着。「井戸寺」はこの宿の横にあった…。

２日目はこの寺のすぐ横にある民宿に泊まった

ありがたいことに、この宿では、洗濯・乾燥は女将の“お接待”。食事も美味、しかし同宿の東京からの歩き遍路の男性（60才ぐらい）は寡黙な人で会話がはずまず、もっぱらお女将と雑談し、早目に寝た。

３日目は公共の交通機関をフル活用

３日目は移動距離が約53kmと長く、翌日からは仕事なので、ＪＲ徳島線・タクシー・ロープウェイさらに再びタクシー・ＪＲ・バスとフル活用して周り、最後は徳島あわおどり空港から福岡空港・地下鉄・ＪＲを乗り継ぎ帰熊…。



３日目の行程（53.4km）

徳島県には23番札所の「薬王寺」があるがここまで行くと帰りの便に間に合わないので正月休みにこの薬王寺から高知県内の全寺を周ることにした。

＜ワープ全開のお遍路＞

４時15分起床。足腰が重く入念にストレッチ。５時30分出発。１km先のＪＲ徳島線「府中駅」より乗車して「南小松島駅」下車。

地図をたよりに18番札所「恩山寺」へのお遍路道を捜し出し走歩。

恩山寺７時30分着。さらに４km先の「立江寺」を目指して走っていると軽トラのお兄さんから「途中までだけど乗って行きませんか？」と声をかけられ、即同乗！おまけにミカンまで頂き、約２kmワープ――ありがたし！

立江寺８時30分着。しかし、この先の鶴林寺までは13kmもあり、516ｍの山の上…さらにその先の太龍寺も600ｍの山頂にある…。

すでにバテバテの私の足では何時間かかるか分からず即タクシーを呼び、山頂の鶴林寺までワープ。

鶴林寺の大門でタクシーの運転手に写真をとってもらった

鶴林寺は次の太龍寺と共に山頂にあるが格式の高い立派な寺だった。

鶴林寺から太龍寺まで距離は6.7kmとたいしたことはないが、山を500ｍ下って、600ｍの山登りで、真に今はやりの“トレイルラン”を体験――太龍寺を参拝し、お寺の横のベンチでおにぎり弁当を開き、ゆっくり休憩して昼食を摂ったが、足腰にダメージがあり、下山は太龍寺ロープウェイ（1300円）。さらにそこからタクシーで、この日の最終札所「平等寺」へ…。

今回の最終札所22番「平等寺」に午後２時頃着

平等寺の近くのＪＲ牟岐線「新野駅」から「福島駅」に出て、帰りの飛行機まで２時間ほど余裕があったので、駅前のホテルサンルート徳島の「びざんの湯」700円で汗を流し近くの「餃子の王将」で一人完踏祝いの祝杯をあげ、市バスで徳島あわおどり空港から福岡行きのプロペラ機で帰りの途についた…。

帰りの飛行機　徳島あわおどり空港にて

つづく

決勝戦：延長８回サヨナラホームラン

― 第２回　全国歯科医師会野球大会 ―

11月23日（土）、24日（日）の２日間、第２回大会が東京の大井運動公園グランド４球場で開催された。今年は北は北海道から南は九州までの12チーム、２日間のトーナメントで文字通り日本一を決める大会となった。全国を12ブロックに分け、各ブロックを勝ち抜いた強豪チームが集結した。九州は各県４～５名の選手が選抜された。本県からも千場、上田、田中、井野の４選手が大会に出場した。

優勝した九州連合チームと準優勝の岩手県選抜チーム

予選リーグ

九州はＣブロックで、群馬、福島の３チームで戦った。本県の田中、井野選手もスタメンで出場した。成績は群馬に６－１、福島に１－０と２勝した。しかし、福島とは薄氷を踏む思いの勝利であった。福島のエースは大学時代、オールデンタルの優勝ピッチャー、東北ではNO．１のピッチャーである。九州は内野安打２本のみ。しかし九州の川村投手（福岡）も力投、１－０の完封勝利で抑え切った。

準決勝

準決勝の相手は北海道。

試合開始と同時に相手チームの先頭打者に柵越えのホームランを打たれる、本当に度肝を抜かれた。又、相手投手は北海道優勝の旭川チームのエースである。１ｍ80㎝の長身のサウスポー。ストレート、スライダー、チェンジアップ全て一級品。３－１の勝利をおさめたが、大接戦の素晴らしい投手戦であった。

決勝戦

決勝の相手は東北代表の岩手県チーム。

ピッチャーは技巧派投手、なかなかタイミングが取れない。２－４とリードされ、最終回を迎える。一死ランナーなし。差は２点。絶体絶命!!ほとんど敗けを覚悟した。しかし、九州も粘り、二死２、３塁から田中（本県）がサード強襲の同点タイムリー。土壇場での殊勲の同点打。

そして延長８回裏、劇的なドラマが待っていた。先頭打者、井上（長崎）。１ボールからの２球目、強振した打球は左中間に大きな放物線を描いた。何と、左中間スタンドに入る、サヨナラホームラン!!まるで絵に描いたような７回最終回での同点。そして延長、サヨナラホームラン。九州ベンチ、決勝戦を観ている全ての人が感動。

最優秀選手には、投げては３勝（完投勝利２、リリーフ１）、打ってはサヨナラホームランを含む、７割５分の打率を残した井上投手（長崎）が選出された。文句なしのＭ．Ｖ．Ｐであった。試合を終っての感想は、やはり、全国レベルになると素晴らしい選手が沢山いる。その中でも各地区を勝ち抜いたピッチャーはレベルが高い。九州が大本命と言われた大会であったが、フタを開けてみると、４試合とも全て苦戦の連続であった。しかし、苦戦しただけ歓びも大きかった。又、来年の大会を楽しみに、そして野球を愛する全国の歯科医師が夢にまでみた全国大会が昨年から開催され、その第２回大会で優勝し、全国制覇できたことを本当にうれしく思う。

（千場　正昭）

＜優勝戦＞

	1	2	3	4	5	6	7	8	計
岩手	0	0	0	4	0	0	0	0	4
九州	0	1	0	0	0	1	2	1×	5×

会員投稿

安心して研修出来る環境を

― 日本歯周病学会第６回九州地区臨床研修会 ―

伊東歯科口腔病院　日本歯周病学会理事　**伊東　隆利**

参加者325名、広い県歯会館の大ホールにびっしりと熱心な聴講者が集まり、日本歯周病学会臨床研修会が11月16日（土）に行われた。谷口威夫先生の生涯かけた歯周病治療のエッセンスを教育講演として、また横田誠教授の長年研究の末に開発された歯周病治療に反応のよい例、悪い例といったレスポンス法の特別講演があり、盛り上がった。講演の間のテーブルクリニックは、６ブースに分けられ、各ブースには九州地区歯科大学の歯周病学講座の教授に指導をお願いし、各ブースとも熱気にあふれていた。ポスター発表、口演発表もすごい参加者であふれていた。内容は長い期間、患者さんと共に、歯周治療のメンテナンスというよりお口の健康、体の健康のサポーターとして歯科医師、歯科衛生士が頑張っている姿が映し出され、歯周病学会での発表と違って、地域性のあるあたたかい内容の発表が目立った。発表の皆様、ありがとうございました。

ＮＰＯ法人日本歯周病学会は、日本の歯科医療のレベルアップのために歯科大学のない地域で臨床研修会を開催することにし、年２回各地区毎に企画し、今回が33回目、九州地区で６回目、熊本で２回目の研修会だった。

２年前の日本歯周病学会理事会で、平成25年は熊本で開催するよう理事を務めている私と東克章会員に話があった。熊本の地域に合うようなプログラムを組もうと、私が実行委員長、東克章会員が準備委員長、実行委員として、熊本県歯科医師会、熊本市歯科医師会、熊本県歯科衛生士会に参加していただき、10回にわたる委員会を開き、11月16日に備えた。

たくさんの聴講者が集まった

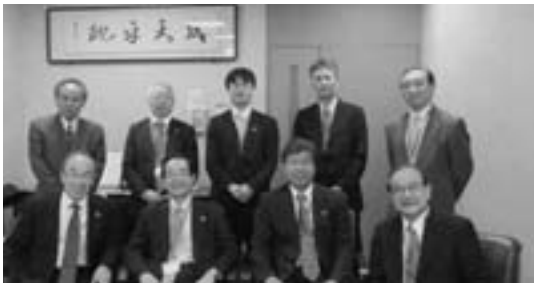
浦田健二県歯会長に大会長を務めていただき、日本歯周病学会主催、熊本県歯科医師会共催という形で構成できた。

熊本県では日本歯周病学会認定医７名、専門医19名で、歯科医衛生士に至っては62名で、東京都についで２番目の数字を誇っています。これは、熊本県歯科医師会員、日本歯周病学会会員の努力の表れであると、永田俊彦日本歯周病学会理事長からもお褒めの言葉をいただいた。学会認定医、専門医、認定歯科衛生士に達することは大きな努力を要しますが、これを生涯維持することはもっと大変な努力が必要です。この必要性の感じが、今回の多数の参加者を得ることができた要因かなと思っています。

歯科大学のない熊本県にとって、会員が安心して生涯研修が出来る環境を整えねばならないと考えています。また、学会と歯科医師会が、今後も協力して会員の資質向上に役立つよう努力すべきとも考えています。

関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。

ポスター発表も盛況



お世話になった講師の先生方

会員投稿

可撤性スプリントに与えたい咬合接触関係
― 種々の文献からの情報 ―（その１）

会員　堀田　浩史（熊本市）

１．はじめに

可撤性スプリントによる治療といえば、顎機能障害における初期的咬合治療として、あるいは歯ぎしりに対するナイトガードとして用いられる機会も多いと思われます。一方で、スプリント治療を行うということは新たな咬合関係を作ることになり、当該装置が歯や歯周組織、顎関節等に外傷性に働くものであってはなりません。

日本顎関節学会の「顎関節症患者のための初期治療ガイドライン」[1]では、咀嚼筋痛を主訴とする顎関節症（顎関節症Ⅰ型）患者において、十分なインフォームドコンセント実施の上で上顎型スタビライゼーションスプリント治療を行っても良いとしています。その中で、日中を含めた長時間の使用は避けるという条件付けがなされています。また、日本補綴歯科学会の『一般的な開業歯科医における顎関節症初期治療としてのスタビライゼーションスプリント』のデザインならびに作製方法に関するテクニカルアプレイザル[2]では、スプリントの咬合面と対合歯との接触関係において、両側の小臼歯ならびに大臼歯の均等接触、犬歯誘導あるいはグループファンクションを付与した側方ガイド、平衡側臼歯は下顎偏心位において離開すること、スプリント調整時座位で行い下顎を後方に誘導しないことが合意形成されています。これらのことは、スプリントのいわゆる「害」についても十分に考慮しなければならないことを示しているように思われます。

例えば、歯ぎしり対策でナイトガードを装着したら顎の調子が悪くなったとか、せっかく行った治療が不良な結果を招くことは避けなくてはなりません。スプリントにも各種ありますが、ここではスタビライゼーションスプリントおよびそれと同様な形状を持たせたナイトガードに関して、顎関節や歯、歯周組織だけでなく身体（姿勢）に配慮した咬合接触関係について情報入手してみました。

２．「正常な」咬合接触状態とスプリント治療における咬合接触

咬合異常の診療ガイドライン[3]では、正常な咬合接触状態には、以下の基準が求められています。１）咬頭嵌合位が顆頭安定位（下顎頭が下顎窩のなかで緊張なく安定する位置）にあること、２）咬頭嵌合位への閉口時に早期接触がなく、安定した咬合接触があること、３）偏心滑走運動時に咬頭干渉がなく適正なガイドがあること、です。

スプリント治療においては、１）軽いタッピングで得られる筋肉位を目標に、下顎最後退位になることを避けながら咬合採得を行い、２）全歯列をカバーすることを前提にした形態で、臼歯部は対合歯の機能咬頭頂との接触によるしっかりとした咬合支持、前歯部はタッピングで軽く接触する程度、３）スプリントのガイドは、前方運動は前歯、側方運動は犬歯（あるいは犬歯、小臼歯）、後方運動は最後方臼歯部で行う、ということになります[4]。なお先ほどのテクニカルアプレイザル[2]においては、前歯部の咬合接触に関しては全般的な合意形成は得られていません。また、咬合採得時下顎位を誘導して中心位を用いることに対しては推奨していません。一方、初期治療における咬合調整は習慣性咬合位（軽いタッピング）でよいと合意形成されています。

３．求められるスプリントの形態について

１）下顎頭を後方へ偏倚させるようなスプリントであってはならない

下顎の持続的後方牽引を伴う咬合習癖は前方押し出し運動を伴う習癖よりも顎・肩・背部骨格筋に負担を強いる危険性が高く肩こり等の誘引にもなる、とのことです[5]。ブラキ

シズムは基本的に側方後退運動であり[6]、噛みしめ強度を増すことで被験者17名の下顎頭は0.1～1.57㎜移動し、その際の変位方向は後・上方が多かったという報告[7]もあります。そのため、後方位で咬合採得を行ったり、スプリントへ急峻なガイドを付与したりして、下顎頭を後上方に偏倚させないよう注意が必要です。

２）非作業側での咬合接触は付与すべきかどうか

顎機能障害の診療ガイドライン[8]では、スプリント治療においては関連事項の記述はありませんでした。しかし、非作業側での面状接触の強い症例では、睡眠ブラキシズム時の下顎頭の後上方への圧迫が強いといわれています[9]。一方、作業側に調和した非作業側咬合接触が存在すると、クレンチング時の同側関節内圧力が軽減するだけでなく、クリック発症率が低くなるともいわれています[10]。また大久保ら[11]は咀嚼時において、平衡側接触部位が下顎を支持し誘導している可能性があるとしています。

先ほど、平衡側臼歯は下顎偏心位において離開することが望ましい[2]と述べましたが、すべての非作業側接触が有害というわけではなく、咬頭嵌合位に比較的近い顎位で、しかも作業側と同時に接触する非作業側接触は、むしろ必要であるとする考えもあるようです。

３）日中のスプリント使用およびスプリントの装着期間について

日中覚醒時と夜間睡眠時のいずれもブラキシズムあるいはクレンチングを行う被検者においては、日中覚醒時のイベントの割合が多かったという報告もあり[12]、日中のクレンチング対策も考えなくてはいけません。一方テクニカルアプレイザル[2]においては、一般的には夜間装着が基本とされているものの日中の装着も指示する臨床医もみられ、装着時期および時間について統一した見解は得られていません。

スプリントを使用せず日中に（意識化で）可能な力のコントロールとして、例えば食事指導において、食品が破砕された後のover shootを回避する、丁寧に食べる、毎回食いしばらない、咀嚼回数を増やす、等の対処法も紹介されていました[13]。

さて、スプリントの装着期間はどのように考えたらよいのかについて調べてみました。顎機能障害については、３ヶ月装着しても改善が見られない場合には治療法の再検討が必要とのこと[4]。しかし、ナイトガードについてはOSAS患者が装着するスリープスプリントと同様、どうしても装着期間が長期化する傾向があります。ちなみに、平均１年の装着期間の４例で閉口不能をきたした報告や3年間の長期装着で重度開咬をきたした報告がある一方で、咬合変化・歯牙の変化がなかったという報告も複数認めているそうです[1]。

スプリントを入れたら終わりということではなく、歯の移動や咬合接触、歯周組織の状態、顎関節の状態等に対する定期管理の重要性が示唆されます。

４）スプリントに付与する側方ガイドにおける注意点

ガイド以前の話ですが、まず、フルフラットでガイドを付与しないスプリントがNGであることは合意形成されています[2]。ガイドを付与しない（できない？）といえば、熱可塑性プレートを用いた吸引成型法によるものは正確な咬合調整が困難で経時的な変形も生じやすいことからスタビライゼーションスプリントの材質としては好ましくないことが合意形成されています[2]。

さて側方ガイドにおいて、歯のガイドを第一大臼歯あるいは第二大臼歯のみに設定すると顎関節に大きな負担がかかるという報告があります[14]。作業側犬歯および第一小臼歯に歯のガイドが存在する場合には、作業側下顎頭は前上方へ変位し顎関節の中で下顎頭が下顎窩により近接して一体の様相を示しているのに対して、歯のガイドを歯列後方の第一大臼歯あるいは第二大臼歯に移すとクレンチング負荷による下顎頭の偏位方向は下外方あるいは下方へ変位するということです[14]。つま

り、下顎頭が顎関節の中で下顎窩から離開する様相を示すわけで、作業側下顎頭の運動機能に悪影響を与える病理性が存在していると考えることができよう、と結論付けています[14]。

5）スプリントに付与する前方ガイドにおける注意点

河野ら[14]は、アンテリアルガイダンスとなる切歯路角とポステリアルガイダンスである顆路角との間には、下顎頭の回転方向と下顎全体の回転方向とを一致させて、下顎運動が円滑に行えるように両者の傾斜角度の要件を満たす必要があると述べています。具体的には、例えば咬頭嵌合位から前歯の切端咬合位までの前方滑走運動については、切歯路角は顆路角よりも0から25°程度急傾斜を示していることが必要だそうです[15]。また、顆路傾斜に比べて前方ガイドが緩いと関節円板前方転位の要因となるという報告[16]もあり、前方ガイドについても軽視するわけにも行きません。

下顎頭を後方偏倚させないように前歯部での強い接触と誘導を避け、かつ前方ガイド時臼歯部が離開するような設計を治療や技工のどの段階で行うか、保険診療的には判断が難しいところです。

6）スプリントの厚みはどの程度に設定するか

スプリントの咬合高径については、スプリントの強度確保するために臼歯部で1㎜程度の厚さが必要で、前歯部で約2㎜の安静空隙内の挙上を目安とする考え[17]や、咬合挙上量が安静空隙量を大きく超えない範囲で臼歯部中心窩から対合歯機能咬頭との咬合接触部において概ね1.5～2㎜の厚さが望ましいという考え[2]がありました。一方、睡眠中の咀嚼筋安静（低緊張）状態における垂直的顎位を解析した研究[18]の中で、平均垂直的顎位は2.9～6.0㎜という結果が出ています。

安静空隙量については、量的に日内変動を起こすことや姿勢や環境の変化により新たな安静空隙が構築されること[19]が報告されていますし、覚醒時よりも睡眠中の方が垂直的に開口傾向にあるようですし、スプリントの厚み（垂直的位置）に対する許容範囲は水平的位置のものよりも大きいと考えていいのではないかと思いました。

【文献】

1）日本顎関節学会：顎関節症患者のための初期治療診療ガイドライン．2010.
2）日本補綴歯科学会：『一般的な開業歯科医における顎関節症初期治療としてのスタビライゼーションスプリント』のデザインならびに作製方法に関するテクニカルアプレイザル．補綴誌，2011.
3）日本補綴歯科学会：咬合異常の診療ガイドライン．補綴誌46：585-593, 2002.
4）中野雅徳ほか：咬合学と歯科臨床　よく噛めて，噛み心地の良い咬合を目指して．医歯薬出版，東京，2011.
5）藤井弘之ほか：咀嚼筋と頭，頚，肩，背部骨格筋の機能的関連．科学研究費助成事業データベース研究成果報告書，1989.
6）佐藤貞雄ほか：ブラキシズムの臨床　その発生要因と臨床的対応．クインテッセンス出版，東京，2009.
7）松井孝介ほか：軽度咬みしめ時の咬合接触様相と下顎頭運動動態の関連性．岐歯学誌．35(3)：114-122，2009.
8）日本補綴歯科学会：顎機能障害の診療ガイドライン．補綴誌，46：597-615, 2002.
9）小野寺寛司ほか：ブラキシズムの臨床診断．日本歯科評論．65(8)：76-83, 2005.
10）馬場一美ほか：睡眠時ブラキシズムの合理的診断と対応．平成24年度日歯生涯研修ライブラリー：18-22，2013.
11）大久保由紀子ほか：機能運動時の咬合接触およびクリアランス．補綴誌．36：746-760, 1992.
12）遠藤寛ほか：日中と夜間のブラキシズムの関係．補綴誌．5（122回特別号）：261, 2013.
13）永田和裕：顎関節治療のニューコンセプト．日本歯科医師会雑誌．59(10)：23-34, 2007.
14）河野正司ほか：歯のガイドと顎運動機能．Niigata Dent．31(1)：1-8, 2001.
15）河野正司ほか：前方滑走運動の歯牙指導要素としての切歯路の研究．補綴誌，19：426-433, 1975.
16）長尾亜希子：関節円板前方転位症例における顆路角と切歯路角の関係．補綴誌，45：710-719, 2001.
17）石川輝明ほか：スプリント治療の実際．咬合学と歯科臨床．252-260, 2011.
18）鈴木善貴ほか：睡眠中の咀嚼筋安静（低緊張）状態における垂直的顎位　スプリントの最適な咬合挙上量の検討．日本顎口腔機能学会雑誌．17(2)：113-124, 2011.
19）坂東永一：下顎位のテレメータリングによる経時的観察．補綴誌, 14：183-203, 1970.

新入会員 NEW

①今もっとも関心のあることは何ですか。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

第１種会員

杉野　東生
（スギノ　ハルオ）

杉野歯科医院
熊本市西区春日２丁目
13番３号

①消費税率８％～10％引き上げによる今後の日本経済
（多額の借入金あるため）
②患者さんに喜んでもらえる診療
③特になし
④一歩、一歩ゆっくりと患者さんの生涯を通した口と歯の健康作りに貢献したい

第３種会員

川上　剛司
（カワカミ　コウジ）

くまもと温石病院

下益城郡美里町
中小路835

山口　彩子
（ヤマグチ　サイコ）

菊陽病院

菊池郡菊陽町
大字原水5587

会　務　報　告

自　平成25年11月25日
至　平成25年12月18日

所管	日付	摘要	出席
総　務	11月26日	日本プライマリ・ケア講演会シンポジスト打合せ（県医師会館）	松本理事
	27日	都道府県事務長事務連絡会（日歯会館）	澤田事務局長
		第15回県医療対策協議会（熊本テルサ）	浦田会長
		第６回理事会 【承認事項】（１）新入会員の承認（２）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼 （３）部活動補助金交付申請 【議題】（１）平成25年度第２回臨時代議員会の日程案 （２）第２回各郡市会長・専務理事連絡会議の報告・協議 （３）社会歯科学研究会秋期研修会の熊本開催依頼　ほか 【協議事項】（１）時局対策	浦田会長他中嶋副会長を除く全役員、伊藤学院長
	28日	県警察歯科医会役員会 （１）委嘱状伝達（２）災害時対応マニュアル（３）災害コーディネーター研修会　ほか	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、田上・八木・牛島常務理事、伊藤学院長他５名
	29日	職員人事評価打合せ	渡辺専務理事、八木・牛島常務理事
	30日	月次監査	久々山・西野監事
		愛知学院大学歯学部同窓会熊本支部例会（熊本市）	小島副会長
	12月１日	伊東歯科口腔病院院長就任披露宴（ホテル日航熊本）	浦田会長
		県三師会剣道大会懇親会（熊本市）	牛島常務理事
	２日	大規模災害時の災害支援活動に関する協定締結式	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、八木・牛島常務理事
	３日	第10回常務理事会 （１）平成26年度各委員会の事業計画案並びに予算案（２）県歯会館の火災保険契約更新 （３）平成26年度九州各県社会保険担当者会の開催期日　ほか	浦田会長他宮坂副会長を除く常務理事以上全役員
	４日	日本口腔外科学会熊本支部会	小島副会長
	５日	第７回県医療・保健・福祉連携学会第３回企画委員会	小島副会長
	６日	国民医療を守るための総決起大会（東京・日比谷公会堂）	浦田会長
	７日	「九州」「中国・四国」地区役員連絡協議会（パシフィックホテル沖縄）	浦田会長、小島副会長、渡辺専務理事、田上常務理事、澤田事務局長
		くま歯キャラバン隊（球磨郡）（錦町・パルティール福寿庵）	田中理事
		県警察医会研修会（県警本部）	八木・牛島常務理事
		新樹会望年会（ホテル日航熊本）	宮坂副会長
	８日	日本小児歯科学会九州地方会学術講演会	宮坂副会長
	10日	職員冬季賞与支給式	浦田会長
	11日	日歯議事運営特別委員会（日歯会館）	浦田会長
	12日	労働保険事務組合監査及び労働保険料算定基礎調査 （１）事務組合監査（２）委託事業場算定基礎調査３事業所	木下書記
		県体育協会第３回財務特別委員会（熊本テルサ）	澤田事務局長
	16日	第11回常務理事会　（１）新入会員の承認 （２）平成26年度会費及び負担金の賦課額・賦課率並びに徴収方法案 （３）会費・負担金減免申請の承認　ほか	浦田会長他常務理事以上全役員

所管	日付	摘要	出席
総　務	12月16日	副会長会議	浦田会長、小島・中嶋・宮坂副会長、渡辺専務理事
社会保険	11月30日	近県社会保険担当者会議	浦田会長、中嶋副会長、渡辺専務理事、田中・椿理事、清水委員長他13委員
		社会保険個別相談会　　相談者：１名	渡辺・反後委員
	12月５日	レセプトチェックセンター　　相談者：２名（電話・１名、ＦＡＸ・１名）	田中理事
	12日	保険個別指導（ＫＫＲホテル）	金本副委員長、渡辺・井口委員
地域保健	11月27日	標準的な成人歯科健診モデル事業（熊本日日新聞社）受診者：34名	二宮委員
	30日	日本口腔衛生学会打合せ	渡辺専務理事、田上常務理事
	12月６日	笑顔ヘルＣキャンペーン反省会 （１）笑顔ヘルＣ中央イベントの反省	宮坂副会長、田上常務理事、加藤理事、川瀬委員長他６委員
	11日	標準的な成人歯科健診モデル事業打合せ　（１）次回健診に向けての打合せ	田上常務理事他３委員
	18日	第２回健康づくり県民会議幹事会（熊本県庁）	宮坂副会長
広　報	11月28日	広報・学校歯科合同委員会 （１）むし歯予防うがい液（フッ化物洗口）の有効性に関する普及啓発事業に係る打合せ	大林・加藤理事、立本副委員長他１委員
	29日	広報小委員会　（１）会報12月号・第２回校正	加藤理事、佐藤委員長他１委員
	12月２日	フッ化物洗口啓発用ＤＶＤ撮影・収録（県庁、阿蘇市立波野小学校） （１）むし歯予防うがい液（フッ化物洗口）の有効性に関する普及啓発事業に係る啓発用ＤＶＤの県知事撮影	緒方書記
	５日	広報・学校歯科合同委員会 （１）むし歯予防うがい液（フッ化物口）の有効性に関する普及啓発事業に係る打合せ	加藤理事、立本副委員長他１委員
	９日	広報・学校歯科合同委員会 （１）むし歯予防うがい液（フッ化物洗口）の有効性に関する普及啓発事業に係る打合せ	大林・加藤理事
	16日	広報委員会　（１）会報１月号・編集	加藤理事、佐藤委員長他４委員
学校歯科	11月29日	県健康教育推進学校表彰審査会	宮坂副会長
	12月１日	むし歯予防うがい液（フッ化物洗口）の有効性に関する学習会（宇城市小川総合文化センター）　主催：ＪＡ熊本中央会	森義和会員
	３日	歯及び口腔の健康づくり指導（大津町役場）	髙田宗秀会員、松﨑歯科衛生士
	５日	歯及び口腔の健康づくり指導（南阿蘇村長陽庁舎）	田上常務理事
	９日	歯及び口腔の健康づくり指導（宇城総合庁舎）宇城校長会議	大林理事、東田会員
		学齢期歯科保健講演会（八代ハーモニーホール） 参加者：100名	宮﨑委員、中川会長・上田副会長（八代）
	16日	学齢期歯科保健講演会（球磨地域振興局） 参加者：109名	黒仁田会員、與田会長（人吉市）、塚本会長（球磨郡）
	17日	学校歯科委員会　（１）２／５研修会（２）圏域報告	大林理事、河原委員長、他全委員
医療対策	11月28日	玉名郡市歯会医療対策研修会（玉名市文化センター）	冨屋理事
	12月７日	医療対策講演会 講師：ファイヤースポット代表　桑原たか子先生 演題：さわやかな接遇を目指して～潜在的クレームを作っていないだろうか～ 受講者：191名	宮坂副会長、冨屋理事、岡田委員長他全委員
	10日	医療相談　（１）裁判事例（当該歯科医師・福岡弁護士同席）	冨屋理事、犬束委員
	18日	医療対策委員会　（１）事例報告検討（２）医療対策講演会（３）委員提出協議題（４）理事報告	冨屋理事、岡田委員長、他全委員
センター・介護	11月28日	口腔ケア指導者養成研修会（山鹿市鹿央総合支所）	平井委員長
	30日	口腔ケア指導者養成研修会（あさぎり町商工コミュニティセンターポッポー館）	今藤委員
		第２回摂食・嚥下研修会 受講者：135名	宮坂副会長、松本理事、平井委員長他２委員
	12月１日	口腔保健センターカルテ・会計チェック	松岡センター長
	３日	在宅歯科医療推進事業ワーキング委員会 パンフレット・リーフレット最終版	松本理事、平井委員長、松岡委員、赤尾委員、金子さおり
	５日	障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業研修会 受講者：52名	松本理事、平井委員長、今藤・松岡・井手委員
	７日	口腔ケア指導者養成研修会（天草地域振興局）	青砥委員、松本理事
		口腔ケア指導者養成研修会（宇城市・パルシェ）	古田委員、松岡委員
		口腔ケア指導者養成研修会（御船町カルチャーセンター）	岩田会員、井手委員
	14日	介護者歯科実技研修会（１日目） 受講者：127名	宮坂副会長、松本理事、平井委員長他全委員
	15日	介護者歯科実技研修会（２日目） 受講者：114名	宮坂副会長、松本理事、平井委員長他全委員
総務・厚生・医療管理	11月26日	第16回熊本院内感染対策研究会冬季世話人会（熊本大学医学部附属病院）	牛島常務理事
	29日	総務・厚生・医療管理委員会　（１）県歯ガイドブック（２）がん連携事業講演会	牛島常務理事、池嶋委員長他全委員
	12月４日	日歯がん診療医科歯科連携推進協議会（日歯会館）	牛島常務理事
	10日	県がん診療連携協議会　相談支援・情報連携部会（熊本大学医学部附属病院）	牛島常務理事
	11日	病診連携協議会 熊本機能病院との連携	宮坂副会長、渡辺専務理事、牛島常務理事他３名
	14日	九州各県医療管理担当者会（沖縄県歯会館）	牛島常務理事、宮井副委員長
学　院	11月30日	全衛協専任教員講習会Ⅵ・日本歯科衛生教育学会（千葉市）	伊藤学院長他２名
	12月６日	学院会計打合せ	伊藤学院長、八木常務理事
	12日	お仕事探検フェア（グランメッセ熊本）	岩切主任他１名
	16日	学院解剖学見学実習（福岡歯科大学）	伊藤学院長、弘中教務部長他２名
	18日	学院自衛隊隊内生活体験反省会	伊藤学院長他２名
国保組合	12月６日	全協九州支部事務研修会	澤田事務局長他３名
	11日	全歯連調査委員会（神奈川県歯科保健総合センター）	桑田常務理事
	13日	第４回国保理事会 （１）特定健康診査等実施計画（25年度～29年度）（２）規約および規定一部改正案 （３）分院	浦田理事長他全役員

ＵＣＬＡ、北京大学口腔医学院、
トゥルク大学をはじめ、誰もが
世界のリーダー格と認める**海外の大学と**
双方向交流を続ける、わたしたち朝日大学。
短期留学制度を持つ大学は多くても
交流大学からの学生の受け入れをも
継続的に行っている歯科大学は、わずかです。
「**国際性豊かな歯科医師**の育成」という
私立大学としての「建学の精神」が
そこにあります。また可能な限り**低額に**
設定した学費も、やはり歯科医学を志す
全ての若者にそのチャンスを、という
フィロソフィーに基づいています。

3つの附属医療機関。
400床を有する**医科歯科総合病院**（附属村上記念病院）。
最先端の医療現場に直結し
全身管理を学ぶ理想的な環境。
鍛える。育てあげる。卒業後もサポートする**生涯学習**。
真の知識と技術、そして**やさしい心**を持つ歯科医師へ・・・

さあ、未来へ急ぎましょう。

2014年度 入試情報

News 福岡試験場 設置
アクロス福岡（福岡市中央区天神1-1-1）

一般入試（I期）と大学入試センター試験利用入試（I期）に、福岡試験場を設定。九州からも受験しやすくなりました。また、一般入試と大学入試センター試験利用入試は、同じ日程で設定しているため、それぞれの入試を併願することが可能です。

入試日程

入試区分		出願期間	試験日	試験場
一般入試	Ⅰ期	1/ 7 ～ 1/21	**1/24**	福岡・本学・大阪
	Ⅱ期	2/11 ～ 2/25	**3/ 4**	本学・大阪
大学入試センター試験利用入試	Ⅰ期	1/ 7 ～ 1/21	**1/24**	福岡・本学・大阪
	Ⅱ期	2/11 ～ 2/25	**3/ 4**	本学・大阪
AO入試	Ⅱ期	2/24 ～ 3/10	1次選考：書類審査 2次選考： **3/19**	本学

Experience
朝日大学
http://www.asahi-u.ac.jp/

歯学部
公式モバイルサイト
大学院歯学研究科　歯科衛生士専門学校
附属病院　附属村上記念病院　PDI岐阜歯科診療所

FD：0120-058-327　E-mail：nyuusi@alice.asahi-u.ac.jp　〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

事業課からのご案内

その1

団体定期（歯科医師会専用グループ保険）のご案内

保険期間　平成25年8月1日から1年間（中途加入できます）

★最高「２８００万円」保障！無診査で加入 OK！
★配偶者も１０００万円まで加入 OK！
★１年更新で配当金は加入者へ還元！
★個人保険より団体保険が安い！
★入院保障も１日１５,０００円まで OK！

団体定期保険は歯科医師会が契約者になり保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。**是非ご加入下さい！**

その2

個人でご加入の保険も保険料納付は団体収納扱いでお願いします!

下記の保険会社と団体収納契約をしておりますので、歯科医師会の口座引落しがご利用できます。
保険料が団体割引でお安くなります。ご加入の保険内容に影響はありません。
手続きは簡単です。事務局が代行します。**是非ご利用下さい！**

かんぽ生命	第一生命	住友生命
日本生命	T&D ﾌｨﾅﾝｼｬﾙ生命	明治安田生命
朝日生命	富国生命	ｱﾒﾘｶﾝﾌｧﾐﾘｰ生命
ﾒｯﾄﾗｲﾌｱﾘｺ	NKSJひまわり生命	三井生命

＊詳細につきましては 県歯事務局 TEL:096-343-8020 担当　田尻 までご連絡ください

歯医者オリジナルくまモンマット

サイズ:75×90cm
2週間レンタル料金:1,312円　※各種サイズあり

除加湿除菌清浄機 クリアフォース

4つの機能+光速ストリーマ搭載

加湿 上質のうるおいでお部屋を満たします。

除湿 冬も夏もおまかせ、一年中使える強力除湿。

集塵 6.3㎥/分のﾊﾟﾜﾌﾙ吸引。菌・ﾊｳｽﾀﾞｽﾄ・ｳｲﾙｽを制御。

脱臭 強力脱臭機能で気になるﾆｵｲを除去。

4週レンタル料金　6,300円　　初回金　10,500円

その他各用途に合わせた機種ご用意できます。

詳しくは担当スタッフまでお気軽におたずねください。

Sanikleen 株式会社サニクリーン九州
きれいにしたい。あしたのために。
本社/〒812-0897 福岡市博多区半道橋一丁目17番41
TEL:092(474)0082 FAX:092(474)5767
フリーダイヤル 0120-39-0082
[受付時間] 月曜日～金曜日(祝日を除く) 10:00～17:00
〈フリーファックス〉0120-86-3296
〈ホームページアドレス〉http://www.skkyu.co.jp/

<熊本営業所>
お問い合わせ・ご注文は下記まで

熊本東営業所	熊本市東区尾ノ上2丁目16-15	TEL096-384-5566
熊本南営業所	熊本市南区江越2丁目9-20	TEL096-379-7311
熊本北営業所	合志市幾久富1909-729	TEL096-249-2811
八代営業所	八代市田中西町20-16	TEL0965-35-5030

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
January 2014 No.693

8020 歯からはじめる 笑顔ヘルC

くまもとサプライズキャラクター『くまモン』
©2010 熊本県くまモン #1086

2 行事予定 February

4日（火）	第15回常務理事会
19日（水）	第16回常務理事会
26日（水）	第9回理事会

編集後記

皆様、謹賀新年。

今年はソチオリンピック、サッカーW杯ブラジル大会とスポーツ観戦好きな私としてはワクワクする一年が始まった。

それはさておき、昨年より新年号の干支にちなんだ表紙の為の取材をするように仰せつかっている。

本会報表紙は毎月違ったテーマに沿った人物（主に子供）が入っている写真を利用することが従来より慣例となっているが、私だけ規制が緩和されている。

というのも他の委員は家族サービスの一環で人が集まるところに出向し、子供を被写体にしてカメラを向けても違和感がないものの、独り身の小生がそのようなところでカメラ小僧になろうものなら、いかがわしいものとして処断される可能性が高くなるということを配慮してのこともあるといわれている。（そう思っている。）

そういう私も今年ついに地元歯科医師会独身記録に並ぶ46歳になる。ディズニーに出てくるような白馬の王子とはいかなくなってしまったが、せめて鞍馬天狗のように愛馬にまたがり、さっそうと未だ見ぬ姫をそろそろ我が城へ招き入れたいところである。

（T.S）

■発行日／2014年1月15日発行　■発行人／浦田　健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷